

報告事項 3

県立夜間中学の追加設置及び外国にルーツのある生徒を対象とした

中高一貫校の導入について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

令和5年4月12日

あいちの学び推進課

県立夜間中学の追加設置及び外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校の導入について

愛知県教育委員会では、2023年1月にこれからの定時制・通信制教育のあり方をまとめた「愛知県 定時制・通信制教育アップデートプラン」及び県立高校への併設型中高一貫教育の導入についての基本的な考え方をまとめた「愛知県 中高一貫教育導入方針」を策定・公表した。

策定・公表以降、地域や学校の状況を踏まえて検討した結果、以下のとおり進めていくこととした。

1 県立夜間中学の追加設置（詳細は別紙1のとおり）

「愛知県 定時制・通信制教育アップデートプラン」において、豊橋工科高校に加え、「外国人が多く居住する名古屋市や尾張地区、西三河地区への設置を検討」するとしていた。

(1) 検討経過

外国人生徒や不登校経験者が多く在籍する地域において、夜間定時制を併設する高校への夜間中学の設置について、地元市教育委員会、学校関係者と意見交換を行った。

その結果、西三河地区では豊田西高校、尾張地区では小牧高校及び一宮高校に夜間中学を設置することとした。

(2) 設置場所・開校時期（太枠：今回追加）

地 区	設置場所	開校時期
東三河	豊橋工科高校 夜間定時制（豊橋市）	2025年4月（公表済み）
西三河	豊田西高校 夜間定時制（豊田市）	2026年4月
尾 張	小 牧 高 校 夜間定時制（小牧市）	
	一 宮 高 校 夜間定時制（一宮市）	

※名古屋市内の設置については、現在、名古屋市において検討中

2 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校の導入（詳細は別紙2のとおり）

「中高一貫教育導入方針」において、「西三河地区の外国人生徒選抜実施校を中心に検討」するとしていた。

(1) 検討経過

外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校について、西三河地区の外国人生徒選抜実施校（衣台高校、安城南高校、豊田工科高校、知立高校）（※）を中心に検討した。この4校の中では、衣台高校が、外国人生徒選抜による入学者が最も多く、学校全体で日本語教育に力を入れている。

そこで、衣台高校をモデル校として、まずは、日本語と母語による指導カリキュラムの開発を大学と共同して進め、その成果を踏まえて、地元市との連携型の中高一貫校を目指していく。

※外国人生徒選抜：外国籍をもち、小学校4年以上に編入した人、又は、入国後の在日期間が6年以上の人を対象とした高校入学者選抜。現在、12校で実施。

(2) 導入候補校（連携型）

地 区	導入候補校	開校時期
西三河	衣台高校（豊田市）	2～3年後を目途

3 今後の検討体制

(1) 夜間中学

学校ごとに、県・市教育委員会・学校の実務者によるワーキンググループを設置。

具体的な内容を検討し、教育関係者による「県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会」（※）で具体化を進めていく。

また、外国にルーツもつ子供たちや不登校の子供たちの支援を行っている関係団体、有識者の方々との意見交換も行いながら、子供たちのニーズにあった学校づくりを進めていく。

※「県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会」：

県立高等学校における、2030年代半ばを見据えた今後の魅力化・特色化、再編の将来的な取組の方向をまとめた「県立高等学校再編将来構想」の、取組の検証と更なる具体化について検討する教育関係者による委員会。

(2) 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校

豊田市及び衣台高校と、中高一貫教育の導入について、適宜検討を行い、教育関係者による「県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会」で具体化を進めていく。

また、外国にルーツもつ子供たちへの支援を行っている関係団体、有識者の方々との意見交換も行いながら、子供たちのニーズにあった学校づくりを進めていく。

1 県立夜間中学の設置・支援内容等

- 「定時制・通信制アップデートプラン」（2023年1月策定・公表）において、夜間中学は、豊橋工科高校（東三河）に設置（2025年4月開校）することとした。
加えて、外国人が多い名古屋市、尾張地区、西三河地区への設置を検討することとした。
- 外国にルーツのある生徒や不登校経験の生徒が多く在籍する尾張地区、西三河地区の地元市教育委員会、学校関係者と意見交換を行った。
その結果、西三河地区で1校（豊田西高校）、尾張地区で2校（小牧高校・一宮高校）の夜間定時制高校への設置（2026年4月開校）を進める。
 - ・ 第一次設置校：東三河地区 豊橋工科高校（2025年4月開校（公表済））
 - ・ 第二次設置校：西三河地区 豊田西高校、 尾張地区 小牧高校・一宮高校（2026年4月開校）

（1） 夜間中学の設置（太枠：今回追加）

地 区	設置場所	地域、中学校などの状況	夜間定時制高校の状況	開校時期
東三河	豊橋工科高校 夜間定時制 (豊橋市)	○豊橋市は、外国人が、名古屋市に次いで、県内で2番目に多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。	○週1回程度、日本語学習の時間を設定。 ○在籍生徒数 121人のうち、 日本語指導が必要な生徒 1割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 3割程度	2025年 4月 (公表済み)
西三河	豊田西高校 夜間定時制 (豊田市)	○豊田市は、外国人が、名古屋市、豊橋市に次いで、県内で3番目に多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。 ○豊田市は、不登校児童生徒が多く在籍している。 ○長期欠席により学習が十分でないため、夜間中学など多様な学びの場を求める生徒のニーズがある。	○週2回程度、日本語学習の時間を設定。 ○在籍生徒数 87人のうち、 日本語指導が必要な生徒 2割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 3割程度	2026年 4月
尾 張	小牧高校 夜間定時制 (小牧市)	○小牧市は、外国人が、県内で6番目、尾張地区で最も多く居住している。 ○日本語の習得が十分でないため、夜間中学で学びたいという外国人のニーズがある。 ○経済的に厳しい外国人家庭の生徒は、公立高校への進学を希望するが、日本語習得が十分でなく、基礎学力がついていないケースが多い。	○週4回程度、日本語学習の時間を設定。 来年度から学校設定教科「日本語」を開設。 ○在籍生徒数 121人のうち、 日本語指導が必要な生徒 3割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 4割程度	
	一宮高校 夜間定時制 (一宮市)	○一宮市は、不登校児童生徒が多く在籍している。 ○不登校生徒の中には、夕方登校し、学習支援を受けている生徒がいる。 ○不登校生徒の新たな学びの場の確保が求められている。 ○夜間中学で学びたいという生徒のニーズがある。	○週1回程度、日本語学習の時間を設定。 ○基礎・基本を重視した少人数での指導を実施。 ○在籍生徒数 119人のうち、 日本語指導が必要な生徒 3割程度 中学3年時に30日以上欠席した生徒 4割程度	

（外国人居住者が多い市（2022年6月現在））

・名古屋市 86,043人	・小牧市 10,549人
・豊橋市 19,716人	・春日井市 8,291人
・豊田市 18,935人	・安城市 7,910人
・岡崎市 12,909人	・一宮市 7,418人
・西尾市 10,680人	・豊川市 7,403人

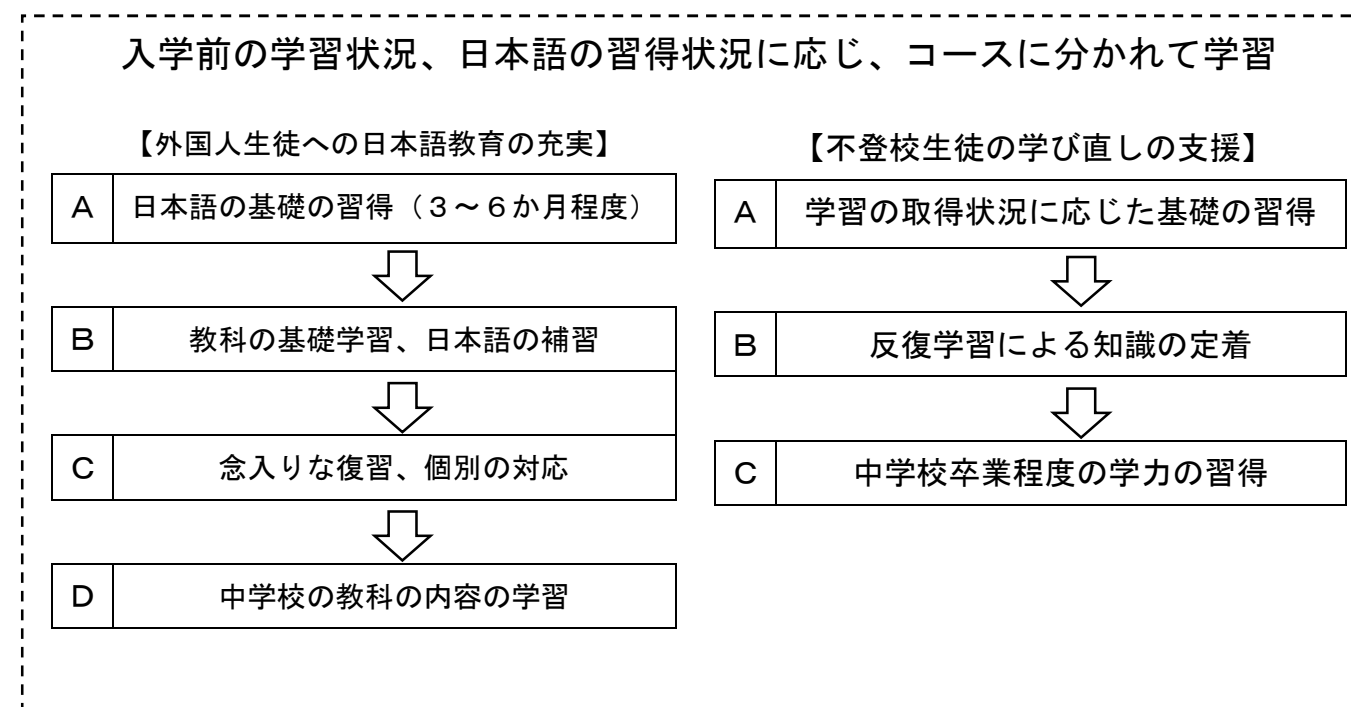
（不登校児童生徒数）

文部科学省「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」により、市町村別の児童生徒数は非公表

(2) 夜間中学の対象となる生徒、教員数、支援内容等

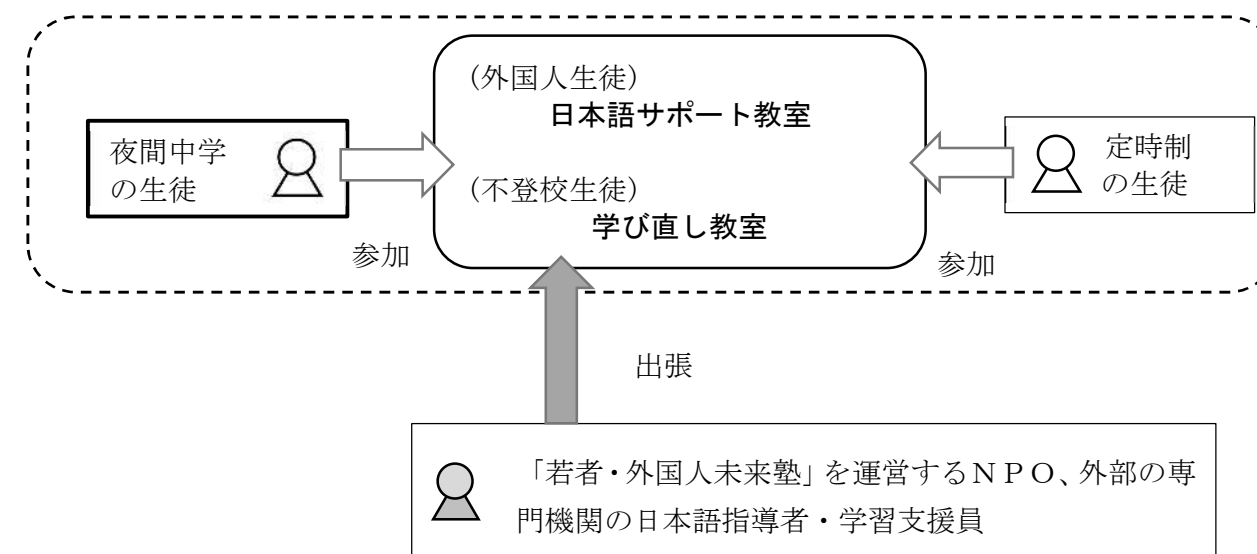
項目	内容
① 対象となる生徒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方 ○ 不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学を卒業した方 ○ 本国や我が国で義務教育を修了していない外国籍の方 <p>※不登校の生徒が中学校に籍をおきながら夜間中学へ通うことも可能</p>
② 生徒数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年1学級10人程度、全体で10～30人程度（定員なし） ○ 日本国籍の生徒が2割、外国籍の生徒が8割 ○ 日本国籍の生徒の半数は60歳以上 ○ 外国籍の生徒はほとんど15才～39才 <p>※国籍、年齢層については、文部科学省「令和元年度夜間中学に関する実態調査」から推計</p>
③ 教員数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専任の管理職1人、教諭10～15人程度、養護教諭1人、通訳など、合計15人程度
④ 支援内容	<p>外国人生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語専門教師による日本語の習得に向けた系統的な学習を実施 ○ 母語指導教師による学習や生活支援を実施 ○ 外国にルーツをもつ生徒が日本語を含む学力を身に付ける <p>➡ 就職を希望する生徒が多いことから、高校で日本語を含めた学力を身に付けることができるよう、夜間定時制高校への進学を支援</p>
	<p>不登校生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学齢期を経過した生徒が中学校卒業程度の学力を身に付ける ○ 基礎からの学び直しにより、確かな学力を身に付け、社会的自立ができるよう、夜間定時制高校への進学や就職を支援 ○ 学齢期の不登校生徒が、在籍校に籍を置きながら夜間中学において授業を受けられる学びの場を提供
⑤ 学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室（ホームルームや特別教室）、図書室、保健室、運動場、体育館は、高校施設を共用 ○ 職員室は、既存の部屋を改修 ○ 豊田西高校は、主に中高一貫の中学校施設を共用
⑥ 「若者・外国人未来塾」との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「若者・外国人未来塾」を運営するNPO、外部の専門機関の日本語指導者・学習支援員が、夜間中学を訪問し、生徒の日本語習得と学び直しを支援

《夜間中学の教育課程のイメージ》



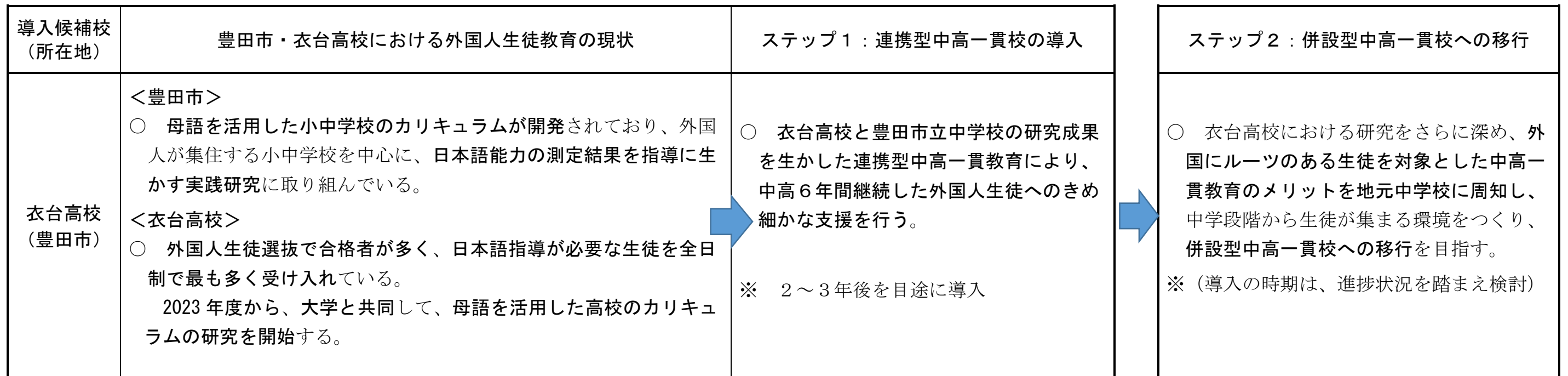
「若者・外国人未来塾」との連携

夜間中学の生徒、定時制の生徒の日本語習得と学び直しを支援



2 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校の導入イメージ

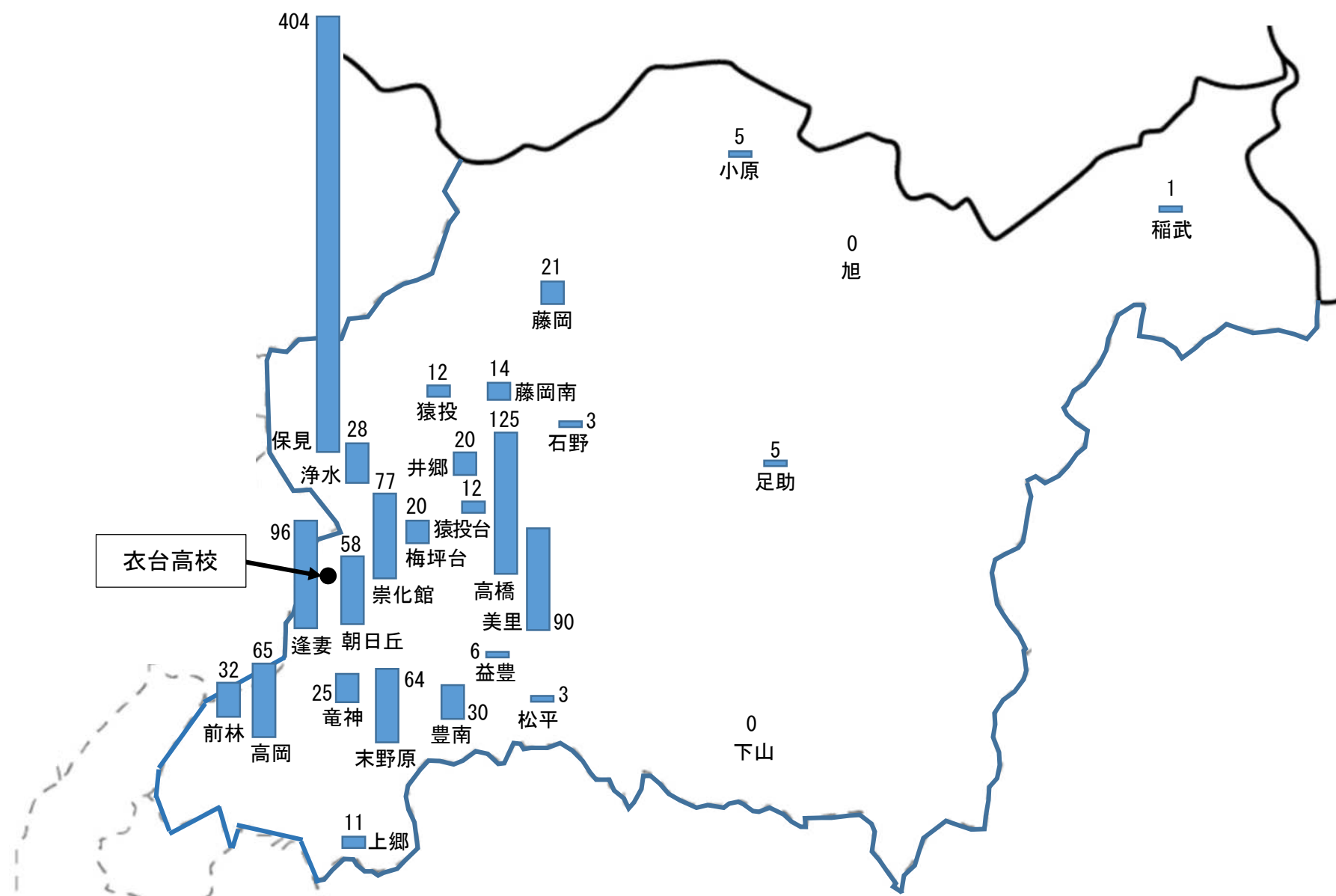
- 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校について、西三河地区の外国人生徒選抜実施校（衣台高校、安城南高校、豊田工科高校、知立高校）を中心に検討した。
この4校の中では、衣台高校が、外国人生徒選抜による入学者が最も多く、学校全体で日本語教育に力を入れている。
- 外国にルーツのある生徒は、日常生活に必要な日本語に加えて、教科の内容を理解するために必要な日本語の習得が課題となるケースが多い。そこで、通常の日本語指導と並行しながら、母語を活用した教科指導により学習能力を上げていく必要がある。
- 衣台高校は、2023年度から、大学と共同して、日本語と母語による指導カリキュラムの研究を開始する予定である。
衣台高校をモデル校として、カリキュラム開発を進め、その成果を踏まえて、まずは、地元市との連携型の中高一貫校を目指していく。（2～3年後を目途とする。）



(参考) 西三河地区の外国人生徒選抜実施校の合格者数 (―は未実施)

入学年度	衣台高校	安城南高校	豊田工科高校	知立高校
2019年度	9人	1人	1人	―
2020年度	12人	4人	0人	0人
2021年度	11人	9人	1人	0人
2022年度	11人	4人	0人	1人
2023年度	14人	5人	0人	3人

中学校区別外国人児童生徒数（豊田市）



衣台高校

- ・外国人児童生徒数は令和4年学校基本調査による。
- ・児童の居住地により複数の中学校が割り当てられている小学校の外国人児童数については、小学校が立地する中学校へ算入してある。

県立夜間中学、外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫教育の導入校の配置について

